



議会報告会 に参加しませんか



開かれた議会をめざして、議員自らが議会活動の内容をお伝えする「議会報告会」を会場・オンラインの両方で開催します。

皆さまのご参加をお待ちしています。

インターネットによるライブ中継も実施します



日時・場所

令和5年12月20日(水) 18時30分～19時30分
区役所11階 第一委員会室

申込方法 ・ 問い合わせ

会場参加をご希望の方は、12月19日(火)までに、区議会事務局まで電話またはメールでお申し込みください。

【電話】3579-2704 (午前9時から午後5時まで。土日を除く。)

【メール】gikai@city.itabashi.tokyo.jp

【定員】50名(申込順)

※参加費無料

内容

決算調査特別委員会・常任委員会・特別委員会の報告

令和5年第3回定例会(9月21日～10月24日)

令和4年度一般会計決算及び4特別会計決算を認定

- 定例会では、区政の各分野における課題について、14名の議員が一般質問を行い、区長などに報告や説明を求めました(要旨を3～5面に掲載)。
- エネルギー・食料品価格などの物価高騰対策に要する経費などに関する令和5年度一般会計補正予算(第4号)など区長提出議案9件を可決しました(詳細は2面に掲載)。
- 陳情は2件を採択、16件を不採択としました(詳細は2面に掲載)。

令和4年度決算の調査の経過

- 本会議3日目(10月6日)に、令和4年度一般会計及び4特別会計の決算について区長から報告がありました。
- 区議会では、全議員により構成する「決算調査特別委員会」において、延べ6日間にわたり集中的に調査を行いました(総括質問の要旨を6面に掲載)。
- 本会議最終日(10月24日)に、決算調査特別委員長が調査結果を報告し、各会派による討論を経て、令和4年度決算を賛成多数で認定しました(討論の要旨を7面に掲載)。

主な掲載内容	面
議案・陳情の審議結果	2
一般質問(要旨) 区政全般に対して行われた質問を紹介	3 4 5
決算に対する総括質問(要旨)	6
決算の概要、決算に対する討論(要旨)	7
議会トピックス	8



○ホームページでは、本会議のインターネット生中継や録画配信がご覧いただけます。

○本会議や委員会の次第、配付資料はホームページに掲載しています。

板橋区議会 Q検索



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

第3回定例会の審議結果

◆議案の内容や議員ごとの態度はホームページに掲載しています。
 ◆会議録は12月下旬にホームページや区議会事務局、図書館、区政資料室で閲覧できます。

■議案・陳情に対する各会派の態度

○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席

区長提出議案	件名	会派名など(カッコ内は所属議員数。自民党は議長を除く数)								結果
		自民党	公明党	民主クラブ	共産党	日本維新の会	いたばし未来	参政党	無所属議員	
		(15)	(10)	(7)	(7)	(2)	(2)	(1)	(1)	
予算	令和5年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
決算	令和4年度一般会計歳入歳出決算	○	○	○6退1	×6欠1	○	○	○	○	認定
	令和4年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○6退1	×6欠1	○	○	○	○	
	令和4年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○6退1	×6欠1	○	○	○	○	
	令和4年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○6退1	×6欠1	○	○	○	○	
	令和4年度東武東上線連続立体化事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○6退1	×6欠1	○	○	○	○	
条例	旅館業法施行条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
	プールの衛生管理等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
	興行場法施行条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
	区立保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	
その他	児童相談所を設置する特別区における措置費共同経理課の共同設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	区道の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	核兵器廃絶にむけた取り組み強化を求める陳情 第1項 オブザーバー参加の件	×	○	○6退1	○	×	○	×	×	採択
	認定こども園における私立幼稚園等保護者負担軽減補助金支給対象の見直し(幼稚園枠・保育園枠間の不平等解消)に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	
	高齢者の生活向上を求める陳情 第1項 実態調査の件 第2項 後期高齢者への経済的支援実施の件 第4項 支援対象拡大の件	×	×	×6退1	○	×	×	×	×	不採択
	高齢者の生活向上を求める陳情 第3項 意見書提出の件	×	×	○6退1	○	×	○	×	×	
	歩きスマホ禁止条例の制定に関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	
	核兵器廃絶にむけた取り組み強化を求める陳情 第2項 署名・批准の件	×	×	○6退1	○	×	○	×	×	
	健康保険証の存続を求める陳情	×	×	○6退1	○	×	○	○	○	
	現行の健康保険証の存続を求める陳情	×	×	○6退1	○	×	○	○	○	
	国に対し、現行の健康保険証を存続するよう求める意見書の提出を求める陳情	×	×	○6退1	○	×	○	○	○	
	教育委員会が行っている「より良い学校生活と友達づくりのためのアンケート」の廃止を求める陳情	×	×	○	○	○	○	○	×	
	長期化する物価高騰の打撃から経営難に直面する中小業者への支援を求める陳情 第1項 物価高騰対策の件 第2項 原材料費等負担軽減の件	×	×	×6退1	○	×	×	○	×	
	長期化する物価高騰の打撃から経営難に直面する中小業者への支援を求める陳情 第3項 給付金・固定費補助の件 第4項 意見書提出の件 第5項 実態調査の件	×	×	○6退1	○	×	○	○	×	
	「適格請求書」(インボイス)制度延期の意見書を政府に提出することを求める陳情	×	×	○6退1	○	×	○	○	×	
	健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める陳情	×	×	○6退1	○	×	○	○	○	
	住民税、国保料、介護保険料、後期高齢者医療保険料滞納での強制的徴収や差押えはやめ、行政手続き及び執行上での改善を求める陳情(住民税差押え等の件) 第1項 強制的徴収等の件 第2項 国税徴収法等遵守の件	×	×	×6退1	○	×	×	×	×	
	住民税、国保料、介護保険料、後期高齢者医療保険料滞納での強制的徴収や差押えはやめ、行政手続き及び執行上での改善を求める陳情(保険料差押え等の件) 第1項 強制的徴収等の件 第2項 国保法等遵守の件	×	×	×6退1	○	×	×	×	×	
	志村第四中学校の単独改修と賛否調査等を求める陳情 第1項 志村四中単独改修の件	×	×	×5退2	○	×	×	×	×	
	志村第四中学校の単独改修と賛否調査等を求める陳情 第2項 賛否調査実施の件 第3項 着工延期の件	×	×	×5退2	○	×	○	×	×	
	志村小学校の借地契約継続を求める陳情	×	×	○6退1	○	×	○	×	×	

■お詫びと訂正

いたばし区議会だよりNo.205(令和5年7月16日発行)に掲載しました以下の記事におきまして、誤りがありました。お詫びし、訂正いたします。

2面「第1回臨時会及び第2回定例会の審議結果」内の「議案・陳情に対する各会派の態度」

消費税率の引き下げの意見書を政府に提出することを求める陳情

【正】民主クラブの態度 ○6退1 【誤】民主クラブの態度 ○

一般会計補正予算(第4号)

補正額 84億4,600万円

可決した主な議案

緊急かつ必要性の高い事業に要する経費

総務費

○防災支援経費、災害対策諸経費 485万円
 都の5年度新規事業として、木造住宅密集地域における木造住宅世帯に対する消火器の購入及び自主防災組織に対する非常用発電機などの購入を助成するための経費

福祉費

○子ども家庭支援事業経費 2,928万5千円
 0歳から小学校入学までの児童を対象に、保護者の病気や仕事、育児疲れなどで一時的に保育を必要とする場合に、利用したベビーシッター利用料の一部を助成するための経費

エネルギー・食料品価格などの物価高騰対策に要する経費

福祉費

○介護保険制度運営経費ほか7事業 2億8,399万5千円
 物価高騰の影響を受けている介護施設・障がい者施設・保育施設に対して、下半期分の支援金を支給するための経費

教育費

○幼児教育振興経費 1億1,455万2千円
 私立幼稚園での保育の利用の対象になっていない0~2歳児に対する一定程度の継続的な預かりに対する補助を実施するための経費

産業経済費

○公衆浴場支援 3,120万円
 燃料費及び電気料金の高騰などを踏まえ、「板橋区公衆浴場燃料費等緊急補助金」を6年3月まで延長するための経費

教育費

○幼稚園費 1,510万6千円
 物価高騰の影響を受けている私立幼稚園に対して、下半期分の支援金を支給するための経費

一般質問

9月21日
9月22日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆一般質問の全文(会議録)は、12月下旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。



寺田ひろし

(公明党)



子ども支援について問う

【質 問】私立保育所に対し、子ども食堂の開設に関する周知をし、開設支援を行うべき。

【区 長】今後、私立保育所の園長会などを通じて周知し、開設を希望する保育所などには、個別の相談に応じるなどの支援を行っていく。

【質 問】学習障がい(LD)について、区民に周知し、理解を深められるようにすべき。

【区 長】適切な支援を行うためには、多くの方に学習障がいを知ってもらうことが大切である。今後もホームページなどを活用して、理解促進のための周知を図っていく。

【質 問】ひきこもりや不登校の中高生に対する、居場所の面的拡充の場所として、児童館を活用すべき。

【区 長】教育委員会とも連携し、施設役割を整理したうえで、児童館が選択できる居場所の一つとして活用できるように検討していく。

高齢者支援について問う

【質 問】認知症の家族介護

者に寄り添う精神的ケアを充実すべき。

【区 長】4年4月から、24時間365日電話で相談可能な「おとしよりなんでも相談」窓口を開設した。引き続き、他自治体の事例も参考にしながら、家族に寄り添う支援について検討していく。

【質 問】身寄りのない方が安心して施設に入所するための支援策は。

【区 長】地域包括支援センターやおとしより保健福祉センターなどが連携して対応しており、認知症などで意思決定が困難な事例においては、成年後見制度の活用支援なども実施している。

医療と健康増進について問う

【質 問】带状疱疹ワクチン接種における周知の充実について、見解は。

【区 長】広報いたばしやホームページの活用に加え、区施設や医療機関に案内チラシを置いて、情報が届くよう努めている。今後、区公式LINEをはじめとするSNSを活用するなど、効果的な周知

クラフトビールの地域資源ブランド化について問う

【質 問】明治6年に下板橋宿でビールが生産されていたことが都内最古の記録として残されていることから、新たな区の地域資源ブランドと位置付け、魅力を発信すべき。

【区 長】区の歴史や文化、産業などと関連付け、魅力発信につながる地域資源になり得るものとして、実現の可能性を引き続き検討していく。

方法について検討していく。

【質 問】介護保険ニース調査の結果を鑑みて、後期高齢者歯科健診において、訪問による健診を実施すべき。

【区 長】後期高齢者歯科健診は、5年度から開始した。訪問による受診機会の拡充は、実施状況を把握するとともに、他自治体の取組状況なども勘案し、今後検討していく。

生成AIの運用指針を問う

【質 問】区における生成AIの運用指針を作成して、安全性と効率性を確保すべき。

【区 長】現在実施している文章生成AIの効果検証を通じて、業務活用に関する運用指針をガイドラインとしてまとめていく。

地域課題について問う

【質 問】上板橋駅南口再開発の工事進捗を、区民向けにわかりやすく掲示すべき。

【区 長】工事の進捗を適切に時期に発信することは必要と認識している。安心・安全



さかまき常行

(公明党)



観光振興事業への活用を問う

【質 問】デザインマンホールをデジタルスタンプラリーやフォトコンテストに活用すべき。

【区 長】今後、導入に向けて検討し、区の魅力発信につなげていく。

地域経済の活性化を問う

【質 問】区民まつりや農業まつりなど大きなイベントの開催に合わせて、いたばしPAYのポイントを貯めて、区で使えるようなキャンペーンを行うべき。

【区 長】区民まつりや農業まつりなど大きなイベントの開催に合わせて、いたばしPAYのポイントを貯めて、区で使えるようなキャンペーンを行うべき。

なまちづくりの実現に向け、再開発組合とともに、わかりやすい情報発信に努めていく。

【質 問】小茂根地区に貨物集配用の荷捌き場を設置するよう警視庁に要望すべき。

【区 長】利用する商店や集配事業者などからの要望があれば、設置主体となる板橋警察署と協議ができるよう調整していく。

※以上のほか、防災、環境、動物愛護活動について質問があった



【区 長】今後、大規模イベントにおいて、積極的に活用し、PRする方を検討する。



岩永きりん

(民主クラブ)



対策の要請を続けていく。
太陽フレアによる災害対策について問う

【質 問】次期計画策定にあっても、新技術の導入によるコスト削減、工期短縮による無電柱化の推進について取り上げるべき。

【区 長】技術や工法、制度は更新も不定期で早い。計画への具体的な記述にはなじまないが、方針として定めるとともに、実践していく。

部活動地域移行におけるeスポーツクラブの活動を問う

【質 問】大会への参加など活発な活動と、現部員である中学生の6年度の参加継続や受入れ枠の拡大を。

【教育長】大会への参加も視野に入れて、積極的に活動する。会場の広さや必要機材などの制約があるが、希望する生徒を可能な限り受け入れられるような運営に努めていく。

メタバースの活用を問う

【質 問】観光スポット施設の3Dコンテンツ化などをトライアル実施しては。

【区 長】史跡公園予定地に現存する旧理化学研究所の施設を3D映像として再現している。また、史跡全体を点群データで測定しており、「工都展」で成果を公開するなど、観光スポットとしての活用も検討している。

史跡公園の整備について問う

【質 問】公園内に、平和に関する常設展示を設置すべき。

【教育長】板橋ならではの展示となるよう、今後、区長部局とも連携し、組織横断的に検討していく。

いたばし花火大会を問う

【質 問】火災事故の再発防止策の確立は、どう行うのか。

【区 長】6年度の実施に向けて、煙火の許認可を行う都や警察、消防と再発防止策の検討を行い、実施方法を精査する予定である。

あいポートの認知度を問う

【質 問】区民の認知度に改善点があると感じている。認知度向上のためのSNSの積極活用について、見解は。

【区 長】これまで広報やホームページなどを通じて情報発信に努めてきた。今後は、区公式LINEなどの積極活

A-1の活用について問う

【質 問】職員アンケートやガイドラインの策定などに取り組み、生成AIの検証・試行に着手すべき。

【区 長】ChatGPTの効果検証を実施しており、その結果を踏まえてガイドラインの作成などを進めていく。

板橋駅西口周辺地区のまちづくりについて問う

【質 問】エリアプラットフォームの体制と今後のまちづくりについて、見解は。

【区 長】多様な人材や組織の参加を可能とするエリアプラットフォームの構築が必要と認識しており、事業の進捗に合わせ、検討を進めていく。※以上のほか、ふるさと納税、防災、認知症施策、終活サポートについて質問があった

東武東上線の踏切対策を問う

【質 問】障害物検知装置を最新の高性能なものに切り替える、遮断かんを屈折しやすく歩行者の脱出が容易なものに切り替えるなどの、安全対策を東武鉄道に要請すべき。

【区 長】東武鉄道では、すでに導入に着手しており、今後も拡大を図る計画であると聞いている。今後とも、安全



おばた健太郎

(民主クラブ)



所有者不明土地への対応について問う

【質 問】所有者不明土地の活用について積極的に取り組むべき。

【区 長】所有者不明土地を利用して地域のための事業を行うことを可能とする「地域福利増進事業」がある。都が主たる役割を担うが、利用主体や目的により、各所管部署が連携するなど、適切な対応ができるよう検討していく。

板橋キャンパス跡地活用について問う

【質 問】隣接する板橋大山公園と一体的に整備すべき。

【区 長】跡地の防災ゾーンの整備に合わせ、板橋大山公園を改修することで、一体的な利用が可能となるため、できる限り有効な活用ができるような整備を考えている。

部活動の地域移行、地域連携について問う

【質 問】地域移行の受け皿団体について、認証制度の確立を求めるが、見解は。

【教育長】適切な指導や運営などに関する客観的な基準を定めるなど、認証制度を確立するために必要な事項について研究を進め、地域移行により混乱が生じないように努めていく。

教員不足への対応を問う

【質 問】杉並区の事例を参考に、区採用の教員制度の実施について検討を。

【教育長】都も教員確保に向けて様々な取組みを検討しており、今後、区もその動向を注視しながら、教育を支える人材の確保に努めていく。※以上のほか、地域課題について質問があった



五十嵐やす子

(民主クラブ)



気候変動への対策と持続可能な事業継続を

【質問】夏季の異常気象の中で、清掃職員の命と健康を守るために、新たに補正予算を組んでも対応すべき。

【区長】補正予算も含め、必要な対応を行うことは重要な視点であると考えます。5年度は、熱中症対策物品の配付などの対応を行いました。

【質問】酷暑の中、収集作業を行う職員の特殊勤務手当について、コロナ禍での練馬区のように独自に増額すべき。

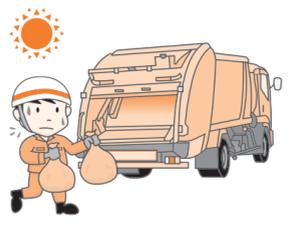
【区長】23区で同額であり、現在増額を求めている。手当については、他区との状況や社会情勢などを考慮して定めており、今後も動向を注視し、適切に対応していく。

【質問】清掃職員の職務は区民からの期待・要望・苦情の対応なども担っており、単純労働職員の範疇から乖離していくと考える。見解は。

【区長】清掃事業が区に移管される以前から、相談・要望などに対応していた。移管後も各区で同様に行われており、大きく乖離していないと認識。民間事業者では困難な業務を区職員の本務として実施していくものと考えている。

【質問】東大震災後の加害の歴史を繰り返してはならないと考える。小中学校では、人権教育をどのように行っているか。

【教育長】各学校で、人権教育の指導計画を作成し、すべての教育活動において、児童・生徒の人権に関する知識や人権感覚の育成に努めている。



ゼロカーボンシティの実現を

【質問】ペットボトルなどの程度水リサイクルされているか把握しているか。

【区長】ペットボトルの売却では、再商品化の具体的な手法や量を指定するものではないため、把握していない。

【質問】東坂下二丁目排水機所のポンプを高性能なものへ交換、または増強すべき。

【区長】台風2号による浸水被害は、下水道管の容量など様々な要素が複合して発生したもので、ポンプの能力が原因とは考えていない。都下水道局と調整のうえ、有効な浸水対策を選定し、今後、連携して取り組む考えである。

【質問】絵本づくりワークショップ事業の予約枠が埋まり、参加できなかったとの声が聞かれる小学生の部について、事業を拡大を検討する。

【教育長】兄弟姉妹の参加などは、定員を超えた際も受け入れていく。参加者は柔軟に対応することにも、大幅な定員超過が見込まれる際には、事業拡大を検討する。

【質問】都が設立したデジタル支援拠点である「Gov Tech東京」の協力を得て、絵本のまちなかPRを行うべき。

【区長】Gov Tech東京では、DXに関わる区市町村への様々な支援が実施される予定であり、積極的な活用を検討していく。



小野ゆりこ

(日本維新の会)



まちづくりについて

【質問】誰もが外出しやすく、ひと休みできるベンチや日常をシェアできる居場所の設置は、多様な人が関わるため、重層的な支援や共生施策としてプロジェクト化し推進する。

【区長】居場所やベンチの設置は重要である。ベンチの設置は、地域保健福祉計画策定と併せて研究していく。

【質問】7か所の地域交流スペースを視察したが、素晴らしい設備があったも活用されていない施設もある。各事業所は本来業務の運営で忙しい、地域交流事業に力を入れていくのは難しい実態がある。

【区長】居場所やベンチの設置は重要である。ベンチの設置は、地域保健福祉計画策定と併せて研究していく。



井上温子

(いたばし未来)



子育て支援拠点について

【質問】児童館を18歳までの子どもの居場所として、最大限有効活用すべき。

【区長】児童館に求められる小中高生の居場所機能のある小中について、検討を進める。

【質問】民間による地域子育て支援拠点を増やすべき。

【区長】国の動向も踏まえながら、民間による拠点整備の必要性を含め、あり方を研究していく。

※以上のほか、物価高騰と人材不足への対応について質問があった



物価高に対する経済支援を

【質問】中小零細業者への現金給付を緊急に実施すべき。

【区長】現段階では、区で直接支援を実施する予定はないが、国や都の財源措置の状況などを見極めながら、区として行うべき支援については、スピード感を持って対応する。

【質問】区内本店事業者の受注機会を確保し、事業者の保護・育成を図ること、地域産業のさらなる発展につながることを考える、見解は。

【区長】今後も、区内本店事業者の育成と公正な入札のため、指名基準の定める範囲で、区内本店事業者を第一とした指名に努めていく。



いらい 桐子

(共産党)



【質問】戦争体験を語る人が少なくなる中、区は今後どのように戦争の悲惨さを語り継いでいくのか。

【区長】「中学生長崎平和の旅」の代替事業の内容は、中継を区立中学校で視聴したほか、都内の平和関連施設の見学と語り部お話を実施するバスツアーを行い、平和学習に取り組んだ。

【質問】障がいがある子どもが利用できる施設を確保すべき。

【区長】「中学生長崎平和の旅」の代替事業の内容は、中継を区立中学校で視聴したほか、都内の平和関連施設の見学と語り部お話を実施するバスツアーを行い、平和学習に取り組んだ。

【質問】「一つの福祉事務所」に転換することで、福祉サービスの向上と包括的支援体制の構築をめざし、検討を進めている。窓口の拡充は、生活保護受給者数の増加などを踏まえ、適切な時期に検討を行う。

【質問】高齢者紙おむつ等支給事業において、介護度別に支給金額を引き上げるとともに、所得基準を見直し、対象を拡大すべき。

【区長】5年度より現物支給の月額を引き上げるなど、制度の充実にも努めてきた。今後も要介護度別の利用者ニーズの把握に努めていくが、現時点は、所得基準や支給金額の見直しを行う考えはない。

【質問】板橋キャンパス跡地に整備される障がい者施設



間中りんぺい

(自民党)



地域への関わりについて

【質問】区職員がこれまで以上に地域に出て、地域に目を向ける区民と連携する仕組みを構築すべき。

【区長】様々な知見を持つ区民と連携する仕組みを構築することで、地域の成長・発展につながることを考える。

【質問】小学校入学に向けた準備だけでなく、非認知能力を伸ばす教育と保護者への教育機会の提供を行うべき。

【教育長】引き続き、非認知能力向上に向けた取り組みを含め、質の高い教育環境整備に努め、保護者に対する幼児教育の理解促進も支援していく。

【質問】産後ケア事業のうち、訪問型・宿泊型だけでなく、通所型も実施すべき。

【区長】近年のニーズの高まりと施設状況の変化に鑑み、6年度に向け、通所型の開始に向けた検討を進めている。

【質問】虐待防止のため、産後の母親には必要とあって話せる仕組みが必要である。区の現状と拡充の必要性について、見解は。

【区長】新生児訪問や産後ケアなど、産前産後から利用できる事業を展開している。今後も、親子の居場所・相談機能の充実に取り組んでいく。



山田たかゆき

(自民党)



教育について

【質問】部活動の地域移行にあたり、指導者報酬などの財源確保の進捗は。

【教育長】いたばし地域クラブの活動経費は、都へ補助申請しており、決定結果を待つている状況である。今後も財源確保に努めていく。

【質問】総合型地域スポーツクラブ「プリムラ」は、部活動の地域移行において、役割を担う可能性があるか。

【教育長】多様な種目を経験できる機会の提供により多くの中学生の受入れについて、期待できると考えている。

【質問】志村小・志村四中の小中一貫校について、区営自転車駐車場の移設により、校庭の広さを拡充すべき。

【教育長】志村四中に隣接する自転車駐車場の学校用地への用途転換について、引き続き検討・調整を行っていく。

【質問】生成AIの活用について

【質問】急速に普及しているChatGPTについて、区職員の利用を想定したガイドラインを策定すべき。

【区長】利用できるサービスを用いて、効率的に回答が得られる方法やリスクについて検証を進めている。効果検証の結果を踏まえ、適切なガイドラインを示していく。

まちづくりへの活用

【質問】まちづくりの進捗に合わせて、パブリックアート設置における作家・作品の選定や購入などの検討会を立ち上げるべき。

【区長】パブリックアート設置の実現可能性が見出された場合は、専門家や地元住民などから意見をもらい、進める必要があると認識している。

【質問】まちづくりの進捗に合わせて、パブリックアート設置における作家・作品の選定や購入などの検討会を立ち上げるべき。

【区長】パブリックアート設置の実現可能性が見出された場合は、専門家や地元住民などから意見をもらい、進める必要があると認識している。

地域防災計画の改定を

【質問】現行の計画は1000ページを超えるため、精査して活用を図れるようにすべき。

【区長】新たな計画では、区が主体的・能動的に講ずる防災対策を中心に記載し、タイムラインの視点を取り入れ、「いつ、誰が、何をするか」を時系列で整理した構成に見直すことでページ数を削減する。

【質問】都営成増第二アパート跡地の利用計画について

【質問】都営成増第二アパート跡地にかかる13年度以降の利用計画について、都へ今後どのような方針で対応していくのか。

【区長】13年度以降の活用に向けて、引き続き都に対して継続的に検討状況を確認しつつ、時機を捉えて、地元要望を踏まえた地域の活性化に資する活用を求めている。

【質問】成増駅北口ペデストリアンデッキは、改修前、ハトの糞害の問題が深刻であった。改修後もハトの糞害対策を講じ、ハトへの給餌による被害防止条例を制定すべき。

【区長】注意看板の設置や餌やり禁止対策など、引き続き必要の対策を講じていく。今後は条例制定も含め、快適な利用環境を確保すべく、実効的な対策を検討していく。



川口 雅敏

(自民党)



高島平地域のまちづくりについて

【質問】5年2月に予定していた交流核形成まちづくりプランの中間のまとめが、5年9月に先送りされた経緯は。

【区長】取組内容の充実を図るため、エリア全体の視点での検討や調整に時間を要している。

【質問】区とURが別々に建物を計画する方法は、双方の認識の食い違いなどにより、良いものは生まれないと考えるが、見解は。

【区長】区とURは、基本合意に基づく協働のパートナーであり、共通認識を持って取り組めるよう、連携して検討を進めている。

【質問】高島平地域のまちづくりの指標になるのは、旧高島七小の解体であると考えられている。解体時期は何年何月か伺う。

【区長】詳細な解体時期は現在示せる段階ではないが、まちづくりプランにおいて、可能な範囲で示していく。

【質問】駅前広場については、連続立体交差事業への影響も視野に入れながら、再開発事業に関する協議を行っている。引き続き、東武鉄道と必要な協議を進めていく。

【質問】上板橋駅南口駅前地区の都市計画道路の供用開始はいつごろを想定しているのか伺う。

【区長】駅前東地区においては、再開発組合が5年5月から建物の除却工事を進めており、道路の供用開始は、10年度を予定している。

【質問】区長自ら先頭に立つことで、地域に住む方々に安心感を感じてもらえると思うが、見解は。

【区長】「東京で一番住みたくなるまち」の実現に向け、上板橋地域を新たなステージにステップアップさせるべく、全力で取り組む覚悟である。※以上のほか、LGBT理解増進法について質問があった



坂田れい子

(参政党)



LGBT理解増進法に関わる区への対応について

【質問】具体的な施策を考案するにあたっては、海外の事例や当事者への実態ヒアリングなどを積極的に行うべき。

【区長】法においては、地方公共団体は、国との連携を図りつつ、施策を実施するよう努めるものとされており、施策を検討する際には、広く情報収集に努めていく。

【質問】包括的性教育を行う際には、子どもが生まれもった性を大切にできるように、十分な配慮を求めたい。見解は。

【区長】包括的性教育のうち、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する新たな取組みについては、政府の基本計画や指針を踏まえて、あり方について研究していく。



令和4年度決算に 対する総括質問(要旨)

10月18日
~20日
決算調査
特別委員会

◆総括質問の全文(会議録)は、1月上旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が総括質問をしている動画にアクセスできます。

大野治彦 (自民党)



4年度決算について問う

問 決算の財政・事務執行状況について伺う。

答 実質収支は18.9%減の10億8000万円余であった。事業執行については、No.1実現プランで掲げた施策の着実な

内田けんいちろう (自民党)



しょうけん「いたばしPay」まつりについて問う

問 キャンペーン対象店舗を区商店街連合会や区商店街振興組合連合会の加盟店舗に限定したことに對する見解は。

答 連合会への加盟を促進することで、商店街のにぎわい創出などを促進するものであり、対象店舗を限定することは、許容の範囲内である。

AEDの設置に向けた支援を問う

問 病院や薬局などにAEDの設置に向けた支援をすべき。民間事業者における普及拡大の効果的な方法について検討していく。

高島平のまちづくりを問う

問 人口動態や人流データの根拠に基づいた提案が組み込まれるべき。

答 Wi-Fiセンサーやモビリティなどの新たな技術を活用した、データ連携によるまちづくりに取り組んでいく。

大野治彦 (自民党)



推進を図ることができた。プラスチックごみの再資源化について問う

問 4年度に実施したプラスチックごみの分別回収に関する地域のモニター調査を通じて得られた課題や問題点は。

答 分別の変更や洗浄の方法などについて、十分な周知が必要と整理した。

都立城北中央公園の再整備について問う



問 現在の都との交渉状況について伺う。

答 5年度に入ってから複数回、都と協議を重ねている。区民にとって、より魅力的な公園となるよう求めていく。

長瀬達也 (自民党)



定住者促進について問う

問 外国人の定住者促進のためには多文化共生の取組みが必要であるが、区の取組みは。

答 文化・国際交流財団と連携し、日本語教室の開催や伝統文化に触れる機会の提供などを通じ、外国人が安心して暮らせる環境を整えている。

物価高克服及び地域経済活性化対策について問う

問 4年度に実施した事業の成果は。

答 経営安定化特別融資やプレミアム付商品券の発行など、多くの区民や事業所に対して地域経済対策を実施した。

いしだ圭一郎 (公明党)



一人一台パソコンの使用ルールについて問う

問 睡眠時間8時間以上を目標に、YouTubeのログイン時間の制限を検討すべき。

答 校長や教員などで組織したプロジェクトチームの意見を取り入れ、健康上の配慮が

元山芳行 (自民党)



データドリブンマーケティングの導入を問う

問 さらなる事業の質の向上のため、勘や経験ではなく数字に基づいたデータドリブンマーケティングを導入すべき。

答 今後もデータを起点とする、エビデンスに基づく政策などの構築に取り組んでいく。

窓口DX SaaSを問う

問 区が導入した「書かない窓口」は、デジタル庁が進める窓口DX SaaSを活用した取組みであるか伺う。

答 「書かない窓口」は、区が独自調達したものである。行政改革について問う

令和版「経営刷新会議」を立ち上げ、民間人が入り、事業の総点検を実施すべき。

答 次期基本構想などの検討を開始していく中で、方針を大きく変更する必要が生じることがあれば、外部委員の意見を伺う機会を設けていく。

空き家対策について問う

問 空き家対策における官民連携の考えについて伺う。

答 売却や賃貸などによる不動産の流通は、民間事業者などの連携が重要となる。他自治体の動向も併せて、慎重に調査・研究していく。

ら、0時から5時までの間は視聴できない設定にしている。青少年委員会について問う

現行の地区活動費は維持し、ジュニアリーダーの登録者数に応じて加算すべき。

答 各地区の活動を安定的に運営するにあたっては、一律の活動費を設定することが適当であると考える。

キッチンカーの乗入れを問う

問 町会のお祭りなどでキッチンカーを円滑に導入できるような仕組みづくりを。

答 キッチンカーなどの利用による飲食物の提供は、申請内容を個別具体的に審査し、許可の判断を行っていく。

東武東上線連続立体化を問う

問 高架下の利用方法の方針について、見解は。

答 施設の用途や配置などの全体的な方針を定める必要がある。この中で施設の利用方法などについて検討していく。

成島ゆかり (公明党)



フレイル予防事業を問う

問 フレイルチェックを受けられる環境整備と拡充を。

答 7年度には18圏域でのフレイルチェック測定会の実施を目標としており、フレイルサポーターの養成などを着実に進めつつ、フレイル予防の普及に取り組んでいく。

がん検診について問う

問 区を受診率の現状について、見解は。

答 大腸がん以外のがん検診については、区を受診率は都内でも下位であるため、受診率向上のための努力が必要であると認識している。

中妻じょうた (民主クラブ)



公契約条例の制定を求めて問う

問 取組状況と、改めて条例の制定を求めるが、見解は。

答 労働環境向上への取組みを具体化した要綱とチェックシートを策定し、5年度契約より適用している。まずは、これらを活用し、事業者の意識改革を一層促していく。

道の駅の整備について問う

問 西高島平駅周辺に道の駅を誘致・整備することを改めて求める。見解は。

答 周辺施設の更新に合わせた誘致は困難であるが、にぎわい創出の方策について、引き続き検討していく。

高沢一基 (民主クラブ)



「歩きたくなるまち板橋」の実現を問う

問 平成22年度に、健康長寿医療センターとウォーキングによる認知機能低下の予防効果を検証した。その研究成果を再評価し、事業への反映を再評価し、事業への反映を再評価し、高齢者の運動習慣の意識付けなどにつなげていく。

答 検診の目的や時期などの周知に努め、精度を維持しながら、受診してもらいやすい見直しや工夫を行っていく。

食品ロス削減について問う

問 食品ロス削減の取組みとして、フードドライブへの寄付者にインセンティブを付与し、事業の推進をすべき。

答 フードドライブも含め、食品ロス削減のさらなる推進に向け、インセンティブの拡充や創設、効果的な周知について検討を重ねていく。

石川すみえ (共産党)



特定妊婦への支援を問う

問 出産前から支援が必要とされる特定妊婦には、産前産後も安心して住み続けられる場所が必要。区内に、特定妊婦が守られる施設の確保を。

答 区内での施設の確保は考えていないが、妊婦の状況に合わせて支援を行っていく。

バス路線を守るための施策を問う

問 交通政策基本計画に、具体的な施策を明記すべき。

答 次期改定時に、まちづくりや社会経済情勢などの変化を反映させるほか、計画に記載のない対応もこれまでと同様に実施していく。

竹内 愛 (共産党)



物価高騰対策について問う

問 物価高騰対策として、区が独自に行った「いたばし生活支援臨時給付金事業」の実施理由と効果は。

答 低所得で生活に困窮する世帯を支援するために実施した。物価高騰の中、家計への

小林おとみ (共産党)



志村小・志村四中の中小一貫型学校について問う

問 計画に反対する方の意見を受け止めてこそ、住民合意が得られると考える。見解は。

答 住民説明会で、反対意見を受け止めながら説明を尽くしてきたが、100%の住民合意には至っていない状況である。

介護保険について問う

問 基金を活用すれば、第8期の保険料を引き上げる必要はなかったと考える。見解は。

答 コロナの影響により給付実績が計画を下回り、基金は積み上がったが、保険料額自体は適切だったと考えている。

大森 大 (日本維新の会)



ふるさと納税について問う

問 影響額、区への寄付額は。7464万円。寄付額は、9月末時点で3949万8千円。

志村六小給食室改修工事の宅配弁当の提供について問う

問 宅配弁当がアレルギー対応ではないため、弁当を持参している家庭への支援策を。

答 食物アレルギーや宗教上の理由を含め、支援について引き続き検討していく。

一助となり、生活の支援になったものと認識している。

給付金の支給対象をさらに拡大することについて、見解を伺う。

答 新たな給付金事業が実施される場合に、国の考え方を注視しつつ、物価高騰などの社会的状況を勘案し、検討を行っていく。

大野ゆか (いたばし未来)



こどもの池の運営を問う

問 暑さ指数的制約に鑑み、民間事業者委託を検討すべき。

答 地域の担い手とともに歩んできた経緯もあり、携わる方々の合意を前提として検討すべきと考える。

暑さ指数を予測し数時間でも運営できるようにすべき。

答 池相互の連絡体制や開設情報の提供手段の研究を行うとともに、暑さを緩和する施設の工夫と併せて検討する。

坂田れい子 (参政党)



コロナワクチン後遺症を問う

問 この医療機関に行っても断られることなく、後遺症の相談ができる体制を。

答 区医師会に、円滑に受診できるように支援することを重ねて周知していく。

しいなひろみ (無所属議員)



在宅介護を支える人材確保と定着支援について問う

問 事業所への家賃補助や報酬の上乗せ加算など、区独自の支援を積極的に行うべき。

答 国が行うべきものであり、区独自の対応は考えていない。

令和4年度

決算の概要と決算に対する討論(要旨)

令和4年度
各会計
歳入歳出
決算

会計名	予算現額	歳入	歳出
		決算額	決算額
一般会計	2,644億7,546万1,000円	2,639億9,992万1,955円	2,529億3,087万5,060円
特別会計	国民健康保険事業	561億8,100万円	554億6,442万426円
	介護保険事業	455億2,700万円	456億4,324万7,592円
	後期高齢者医療事業	139億1,000万円	139億8,040万2,062円
	東武東上線連続立体化事業	1億7,465万4,000円	1億7,707万2,997円

共産党 反対 一般会計、4特別会計

区民の暮らしこそ緊急事態であると認識し、思い切った財政支援を行う区政運営を

- 緊急財政対策として、8%シーリングを行い、シニアクラブの清掃活動費や障がい者団体の補助金までカットし、11億7,700万円の予算削減を行ったものの、基金総額は過去最高の1,144億円という異常な結果であった。
- 「6回の補正予算で対策を講じた」と言うが、4年度のコロナ・物価高対策経費198億円の

- うち、157億円は特定財源で区の支出は41億円だった。もっと区民への支援ができたはず。
- 区営自転車駐車場の指定管理者制度導入により、高齢者雇用を大幅に減らしたほか、回数券も廃止し、利便性が向上したとは言えない。
- 超過勤務が年360時間を超える区職員数は過去最多を更新。正規職員の増員を行うべき。

自民党 賛成 一般会計、4特別会計

複合的なリスクに備えた行財政運営を

- 社会的擁護経験者の支援制度の周知や措置解除前の相談体制の拡充などが望まれる。
- 教育ICT化とGIGAスクール構想の統合した事業展開が求められている。効果的な教育が実施される基盤整備を進めるべき。
- ひきこもり対策は重要な施策であり、一層の推進を求める。

- エネルギー価格高騰対策設備更新助成や公衆浴場燃料費等緊急補助金交付など、区内事業者に対する区独自の事業を高く評価する。
- 区内の危険なブロック塀の除去が進むよう、今後は事業内容を精査すべき。
- まちづくりでは、地域住民への寄り添った対応が求められているため、丁寧な説明を。

公明党 賛成 一般会計、4特別会計

行財政改革を遂行し、持続可能で健全な財政基盤を

- ヤングケアラー実態調査の結果・分析を踏まえ、専門相談や支援窓口の部署を明確にし、多様な支援体制を構築すべき。
- 各種検診の受診やフレイル予防としてのボランティア参加に対し、いたPay健幸ポイントを付与し、健康増進のみならず、医療費の削減や地域活性化へ広く展開すべき。

- 事業者への経営安定化特別融資やエネルギー価格高騰対策設備更新助成などを評価する。
- ゼロカーボンシティ表明に基づく、再生可能エネルギー100%電力の導入や区施設へのウォーターサーバーの設置などを評価する。
- パートナーシップ制度の検討を進め、5年度から制度開始となることを評価する。

民主クラブ 賛成 一般会計、4特別会計

前例にとらわれず、区民の福祉向上のために、さらに的確な施策の実行を

- 新型コロナウイルス対策や物価高騰対策など区民生活や地域経済に及ぼす影響への対策として、緊急性の高い事業を素早く実施したことを評価する。
- 財政調整基金を機動的な財源として、より積極的に活用することを求める。
- 杉並区の事例も参考に、区で採用する区費教

- 員制度の検討を求める。
- 経営安定化特別融資は、資金繰りに苦しむ区内業者から高い評価を受けている。さらなる継続についても検討を。
- 労働環境整備に配慮した調達の推進を図る前向きな要綱制定を評価する。引き続き研究・検討を深め、最終的には公契約条例の制定を。

日本維新の会 賛成 一般会計、4特別会計

真に誰一人取り残さない板橋区をめざす区政運営を

- 保険料を滞納された方の背景に思いを巡らせ、対応策の検討を。その上で、負担の公平性を図ることが最も重要である。収入率の一層の向上に向けた取組みを。
- 引き続き、厳しい経営環境下にある区内事業者に対し、具体的な支援により、寄り添われた4年度の取組みを高く評価する。

- 新型コロナ対策及び原油価格・物価高騰対策の実施は、緊急を要するものとして速やかに実施されたことを高く評価する。
- 新型コロナ拡大局面において、板橋区の縦割り行政への課題が浮き彫りとなった。改めてしっかりと振り返り、これまで以上にスピード感のある区政運営を。

いたばし未来 賛成 一般会計、4特別会計

時代に求められる事業を即座に打ち出し、区民生活の質の向上と未来への投資を

- 病児・病後児保育事業において、2年度から4年度までお迎えサービスの実績がない。代替となる新たなサービスを実施すべき。
- 児童館のあり方検討で、小学生や中高生の利用について検討されており、期待が持てる。
- こどもの池について、人材不足や地球温暖化の影響などに鑑み、運営体制を改善すべき。

- 養育支援訪問事業の利用実績が少ない。様々な困難で支援が必要となった家庭には、収入などの要件を問わず、積極的に無料で育児支援を提供し、集中支援体制をとるべき。
- 高島平のまちづくりについて、地域住民や地域活動団体と信頼し合い、率直に対話できる関係の構築を求める。

議会トピックス

広島平和記念式典への参列

原爆投下から78年目の8月6日、「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」が開催されました。

板橋区議会を代表して一島ひろし、木田おりべ、ひはらみちこ、実正やすゆき、おばた健太郎、小柳しげるの6名の議員が参列し、多くの犠牲者の御霊に哀悼の意を表するとともに、世界の恒久平和を祈りました。

悲惨な原爆の記憶を風化させず、核兵器のない平和な世界の実現をめざすため、板橋区議会の代表が広島で開催された式典に参列しました。



常任委員会視察

他の自治体の先進事例について調査・研究するため、各常任委員会が行政視察を実施しました。

企画総務委員会

●大阪府大東市(8月1日)

企業立地を生かしたふるさと納税の取組みについて視察を行い、寄付金の使い道及び事業の優先順位などについて質疑を行いました。

●兵庫県神戸市(8月2日)

生成AIの活用に関する方針及び体制について視察を行い、ChatGPT試行利用の現況及び職員の反響などについて質疑を行いました。



区民環境委員会

●大阪府東大阪市(7月31日)

産業集積地における企業支援の取組み及び効果について視察を行い、東大阪ブランド認定製品の海外展開などについて質疑を行いました。

●大阪府河内長野市(8月1日)

地域に根ざした文化芸術振興を市民と協働して行う文化会館の運営について視察を行い、ギャラリーの利用率アップに向けた取組みなどについて質疑を行いました。



健康福祉委員会

●岡山県岡山市(7月20日)

医療機関などとの多様な連携によるフレイル予防事業などについて視察を行い、AIアバターを活用した社会実証などについて質疑を行いました。

●岡山県総社市(7月21日)

地域共生に向けたひきこもりの居場所づくりについて視察を行い、ひきこもり支援センターにおける相談支援体制などについて質疑を行いました。



第4回定例会の予定

11月17日(金)	告示、議会運営委員会
11月28日(火)	本会議(一般質問)
11月29日(水)	本会議(一般質問)
12月1日(金)	企画総務委員会 区民環境委員会 健康福祉委員会
12月4日(月)	都市建設委員会 文教児童委員会
12月7日(木)	議会運営委員会
12月8日(金)	ブランド戦略推進調査特別委員会、介護支援調査特別委員会
12月11日(月)	災害対策調査特別委員会、ゼロカーボンシティ推進調査特別委員会
12月13日(水)	議会運営委員会
12月14日(木)	本会議

都市建設委員会

●石川県金沢市(8月1日)

官民連携による公共空間の利活用について視察を行い、協力団体の収益活動に対する考え方や既存イベントとの競合などについて質疑を行いました。

●福井県福井市(8月2日)

市街地再開発事業による新たな交流拠点の創出について視察を行い、事業の財源や公共空間のリノベーションと利活用などについて質疑を行いました。



文教児童委員会

●大阪府門真市(7月18日)

公民連携を生かした子どもの居場所づくりについて視察を行い、地域で見守りを行うボランティアを集めるまでのプロセスなどについて質疑を行いました。

●京都府京都市(7月19日)

一人ひとりに応じた指導を行う不登校特別校の取組みについて視察を行い、縦割りの生活グループを生かした学校運営などについて質疑を行いました。



●会議は原則として午前10時に開会予定です(議会運営委員会は午後1時から)。日時は変更となる場合があります。

●手話通訳は希望日の7日前、一時保育は希望日の10日前、ヒアリンググループ(磁気誘導グループ)の利用(委員会室のみ)は希望日の3日前(土日祝日を除く)までにお申し込みください。

●本会議の様子は、インターネットでライブ中継及び録画配信をしています。板橋区議会ホームページよりご覧ください。

普通救命講習に参加しました

救命技能を身につけ、災害が発生した際に議員としての地域活動に生かすことを目的に、8月29日、板橋消防署による普通救命講習を実施しました。

当日は、初当選議員を中心に21名の議員が参加し、心肺蘇生、AED、異物除去及び止血法の習得を主体とした講習・実技を学びました。



いたばし区議会だよりをスマホで!

各自治体の広報紙を閲覧できるアプリ「マチイロ」や多言語対応アプリ「カタログポケット」でもご覧いただけます。スマートフォンやタブレットなどで、いつでもどこでも手軽に区議会だよりを読むことができますので、ぜひご利用ください。

行政情報アプリ「マチイロ」



Android用 iPhone用

多言語対応アプリ「カタログポケット」



Android用 iPhone用